

令和4年2月28日(月) 15:30~17:30

Web (Zoom) による開催

1. 令和3年度 下半期 専門部会 実施報告

■事務局より、第3～6回専門部会の実施報告(資料1)

<質問、意見>

- ・「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されたが、解決できていない医療的ケアの必要な障がい児を取り巻く状況については今後も課題として挙がってくる。
- ・地域移行支援の利用や実施した事業所等は少ないが、専門部会をきっかけに地域移行支援に目を向ける事業所が増えるのではないかと。
- ・現在強度行動障がい児・者の支援をしている現場担当者からの事例報告であったため、強度行動障がいについてイメージしやすかったと思う。
- ・調査結果から、強度行動障がいに対するネガティブなイメージが先行していることが伺えたが、専門部会において本人を理解するという視点で協議できたことが良かった。

2. 地域生活支援拠点等整備について

■事務局より、令和3年度岐阜市における地域生活支援拠点等(以下、拠点等)の整備に関する調査の報告(資料2)

<質問、意見>

- ・調査報告から、拠点等について認知度が低いことが伺える。
- ・緊急時の対応をした事例について、対応の経過等について公表することにより、拠点等の普及啓発につながる。
- ・高齢の親と障がいのある子の世帯について、高齢の親に関わる支援者も、緊急時の連絡先を把握できるよう、拠点等の緊急時の書式を作成していることを共有できると良い。
- ・拠点等の緊急の定義にあたる児童については、岐阜市内の施設で短期入所できるか。
→児童の場合は、保護者の状況等も考慮し、岐阜県中央子ども相談センターと相談しながら緊急時の対応をしている。

3. 基幹相談支援事業について

■基幹相談支援サテライトより、令和3年度岐阜市基幹相談支援サテライト活動の報告(資料3)

<質問、意見>

- ・65歳になる障がい者が介護保険サービスへ移行するにあたって、相談支援専門員と地域包括支援センターの早めの連携が重要。相談支援専門員を対象とする学習会にて、介護保険について説明する機会があつて良かった。
- ・相談支援専門員を対象とする学習会への出席率が高い事業所とそうでない事業所があると思われるが、相談支援専門員が適宜基幹相談支援に相談できる体制になっているか。
→学習会の内容によっては全事業所を回って呼びかけるなどして、相談支援専門員とのつながりを構築し、相談に応じられるようにしている。
- ・障がい者と関わることはあるが、障がい特性についてわからないこともあるので勉強している。

4. 令和4年度 全体会・専門部会について

- 事務局より、令和4年度岐阜市障害者総合支援協議会の開催日程や協議内容案について説明。
(資料4)

<質問、意見>

- ・障がい者の高齢化が進んでいることから、医療や介護保険の課題を取り上げてほしい。
- ・強度行動障がい児・者を受け入れられる事業所はまだ多くないことから、令和4年度も引き続き、強度行動障がいについてテーマとして取り上げた方がよい。
- ・市内の障がい者支援の関係者をより多く集めて協議する機会もあるとよい。

5. 日中サービス支援型指定共同生活援助について

- 「日中サービス支援型指定共同生活援助について」事務局より趣旨説明

■協議会委員からの要望・助言等

- ・日中サービス支援型指定共同生活援助の事業所指定後に監査はするか。
→問題があれば指導監査課の判断により監査を行うことはあるが、通常3年に1回実地指導を行う。
- ・実地指導においては虐待対応の体制、職員の勤務体制、支援内容を確認するのか。
→虐待については、通報があれば詳しく調査するが、通常虐待に関する研修が行われているか確認する。職員の勤務体制は勤務表やタイムカードで確認する。支援内容についての実地指導は行っていない。
- ・今年度事業所指定した日中サービス支援型指定共同生活援助は、現在機能しているか。
→1月に指定を受けて開所した法人がある。また4月及び5月の指定に向け2法人が申請中。
来年度実施状況の報告をしていただく予定。
- ・事業所開所時は特に実地指導が大切だと思うので、しっかりやってもらえるとよい。